



コモンズ30 +しずぎんファンド

〈月次報告書〉



● 基準価額の推移



● ファンドのデータ

(2017年8月31日付)

基準価額	11,983円
純資産総額	419百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「コモンズ30+しずぎんファンドの費用」をご覧ください)。

※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。

● 基準価額の騰落率

(2017年8月31日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
▲0.31%	3.39%	7.29%	22.28%	19.83%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド(マザー)	91.8%	0.0%
静岡銀行株式	7.8%	▲0.2%
現金等・その他	0.4%	0.3%
構成銘柄	31社	0社

● 分配実績

第1期 (2015年12月18日)	0円	第2期 (2016年12月19日)	0円
----------------------	----	----------------------	----

● 運用状況(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

◎8月のファンド月間リターンとその要因

8月のファンドの月間リターンは、0.31%の下落となりました。

銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「資生堂(+16.90%)」、「SMC(+7.41%)」、「シスメックス(+7.28%)」となりました。資生堂は、9日発表の2017年12月期上期決算が大幅増益となり、通期計画を上方修正したことがサプライズとなりました。SMCは、自動化のキーデバイスである空気圧機器の需要が人件費上昇が続く中国などで増加していることが注目されています。シスメックスは、決算発表で順調な業績や配当の増加が続く見通しにあることが確認され安心感が広がりました。

下位3銘柄は、「カカクコム(▲12.07%)」、「ユニ・チャーム(▲8.57%)」、「リンナイ(▲7.28%)」となりました。カカクコムは、食べログ事業の成長鈍化で、2017年4～6月期決算が小幅増収増益にとどまり、嫌気売りが膨らみました。ユニ・チャームは、成長市場である中国やインドネシアで、紙おむつの販売回復ペースが市場の期待を下回っていることが悪材料となっています。リンナイは、4～6月期の営業利益が低調(前年同期比1%減)で、通期営業利益計画(前期比9%増)の下方修正リスクが高まりました。

なお、ベビーファンドで直接投資している静岡銀行株式の月間騰落率は2.44%の下落でした。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

◎運用責任者メッセージ

8月の内外金融市場は、日米の4-6月期の決算発表から企業業績の好調さや、日米の4-6月期の経済指標が1-3月期を上回る状況であることが確認されました。一方で、こうした改善傾向の景況感に対し、世界の株式市場は北朝鮮情勢の深刻さや、米国トランプ政権の不安定さに神経質な展開となりました。

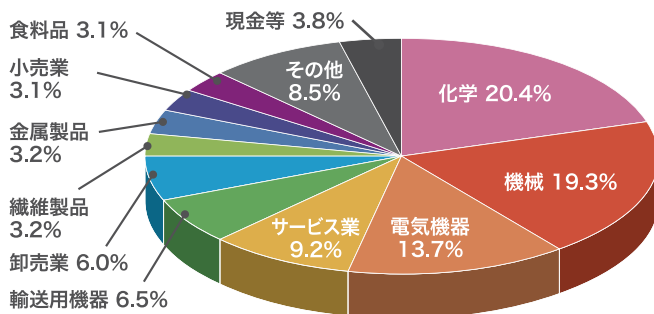
国内では、月初に内閣改造が行われましたが市場への影響は軽微なものとなりました。株式市場は、好業績銘柄が買われる局面もありましたが、北朝鮮状況の緊迫化から東証一部の売買代金は2兆円を下回る日が続くなど、市場はまさに夏枯れ相場となりました。9月、10月は、日米ともに政治が動き始め、さらに米欧の中央銀行の金融政策の正常化に向けた動きが注目されます。9月は、地政学的リスクの意識の高まりに加え、例年の世界の株式市場が弱含む季節性もあり、当ファンドも慎重なスタンスで臨む予定です。引き続き、どうぞコモンズ30ファンドにご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

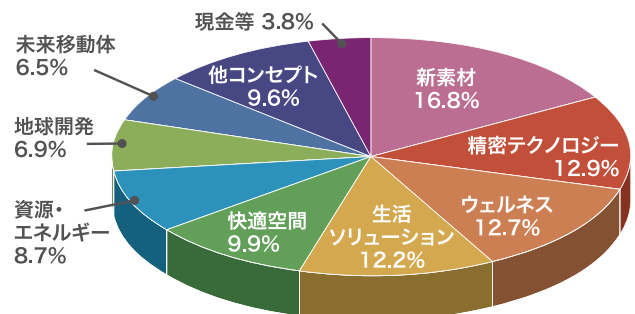
● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

(2017年8月31日付)

◎業種別構成比



◎未来コンセプト別構成比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

● 組入上位10銘柄（静岡銀行株式を除く）

(2017年8月31日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要
4063	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性
4911	資生堂	ウェルネス	銀座も、アジアも、美しく
8035	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社
6146	ディスコ	精密テクノロジー	kiru, kezuru, migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー
6856	堀場製作所	精密テクノロジー	「おもしろおかしく」、時代に合わせて領域を拡大
6326	クボタ	地球開発	日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与
6301	コマツ	地球開発	世界のインフラを作る日本のモノづくり力&IT力
6367	ダイキン工業	快適空間	世界一快適な空気をつくる
6988	日東電工	新素材	柔軟変化し、持続成長が続くグローバルエリアニッチトップ
6501	日立製作所	社会インフラ	インフラとITをつないで、世の中を便利にする

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。
「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

● 新規組入投資先

なし

● 今月のピックアップ！

8月は資生堂の株価が16.9%上昇しました。9日発表の2017年12月期上期決算が大幅増益となり、通期計画を上方修正したことがサプライズとなりました。

営業利益は、上期が前年同期比74%増と急増、通期について会社側は、従来の前期比24%増から同52%増と一段と高い増益見通しに引き上げました。年間配当予想も従来の20円から25円に引き上げました。

日本を訪れる中国人などインバウンド（訪日外国人旅行）向けを中心とした、中高価格帯ブランドの売上増加や、トラベルリテール事業（日本を除く全世界の免税店での事業）の好調、などが追い風となっています。同社のインバウンド関連売上高は、第1四半期が前年同期比30%増、第2四半期で同56%増と加速しています。インバウンドに関しては、関西国際空港のLCC（ローコストキャリア）専用国際線新ターミナル開業効果や熊本地震の影響一巡、百貨店や免税店など顧客接点としての重要チャネルへの投資、などの相乗効果が出ています。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

● こどもトラスト

◎「シスメックスを応援(投資)するか否か？」

こんにちは。マーケティング部馬越です。

8月18日、コモンズ投信の「こども投資家さん」として投資先企業シスメックス株式会社のアイスクエア(加古川工場)を見学しました。東京以外の場所で初めて実現したこどもトラストセミナー企業訪問篇。そして今回は同社にとっても初挑戦。大人の株主による見学ツアーは開催しているものの、親子ツアーは初めてのチャレンジでした。

7歳から11歳のこどもたちが参加。工場のアテンディングスタッフは、この日のためにこどもたちでもわかりやすい説明や、組立体験のコーナーではこどもでも読める説明書を用意してくださっており、こどもたちは工場における様々な工夫や作られている製品について理解を深めることができました。ツアー後半では、こどもたちだけで投資委員会を開催。「シスメックスを応援(投資)するか否か？」。

ひとりひとり感想を述べ合った後、「シスメックスは社会になくてはならない会社だ!」という満場一致の意見でシスメックスを応援し続けることに決定しました。「病気の人にとって必要な機械を作っている会社」、そして目の前で一生懸命働いている従業員の人たちの姿を見て、応援したくなったこどもたち。

最後に益々同社にがんばってもらうために「シスメックスの社長さん」へそれぞれ手紙を書きました。「わたしは大人になったら外科医になろうと思っているけれど、そのためにシスメックスの社長さんも医りようのためにめいっぱいがんばってください。11歳 女の子」

東京で開催したヤマトHD編、ダイキン編に続いて今回のこどもトラストセミナー企業訪問篇も、こどもたちにとって企業を応援する「投資」が身近に感じられた時間となりました。当日を迎えるまで準備を進めてくださったシスメックス社員のみなさまに心から感謝申し上げます。

詳しくはこちらのブログもご覧ください。「シスメックスの社長さんへ」

http://park.common30.jp/2017/08/blog-post_25.html

また、今回は大人の参加枠が限られており、口座をお持ちの方からの先着順でのお申込みで早々にお申し込みを締め切らせていただきました。ご参加叶わなかったお仲間の皆様、誠に申し訳ございませんでした。また今後も投資先企業での工場見学やこどもトラストセミナーを企画して参ります。引き続きご注目いただけますと幸いです。

マーケティング部 馬越 裕子



工場見学の様子

● ちょっといい話

【コモンズ30ファンドが「つみたてNISA」の対象ファンドに仮確定】

この度、コモンズ30ファンドが、2018年1月からはじまる「つみたてNISA」の対象ファンドに仮確定しました(当ファンドの約9割を占めるコモンズ30マザーファンドと実質的に同じものです)。つみたてNISAは、金融庁の資料にも“将来に向けてコソコソ投資をする方を応援する制度”とあるように、長期的な資産形成に適した商品を厳選している点が特徴です。

具体的には、約6000種類もある投資信託の中から、

①長期投資に向かない商品(信託期間が短いもの、毎月分配金が支払われるものなど)

②値動きの大きい複雑な商品(複雑な商品設計がされているもの、手数料の高いものなど)を排除し、対象商品が120本にまで絞り込まれています。その中でも、特に、アクティブファンドについては、約4500種類ある中から、つみたてNISA対象商品として申請をし対象となったのは10本程度でした。

そして、その10本の中にコモンズ30ファンドが対象商品として仮確定したわけです。

このコラムでは、制度の詳しい内容については言及しませんが、当ファンドも同様に長期的な資産形成に適している性質を持っていると考えています(今回の対象商品は運用期間が5年以上経過していることが条件のため、当ファンドは現時点では対象外となっています)。

誰もが気軽に売買のタイミングなどを気にせずに長期的な資産形成を行うことは、コモンズ投信の創業の趣旨でもあります。NISA(少額投資非課税制度)、ジュニアNISA、つみたてNISA、iDeCo(個人型確定拠出年金)と資産形成を後押しする非課税制度が充実してきました。

是非、各種制度を上手く利用して、将来の夢の実現や生活の安定を実現していきましょう。

当社は、そんな皆さまのお役にたてるように、全役職員で頑張っています。

引き続き、ご期待ください。



コモンズ投信株式会社
代表取締役社長 伊井 哲朗

● コモンズ30+しずぎんファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 （信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.242%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

● コモンズ30+しずぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

● お申込みメモ

信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

● 販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
(株)静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○		
マネックス証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第10号	○			